



Construction

国土交通省

点検支援技術性能カタログを拡充 新たに54技術を追加

4月1日、国土交通省は、「点検支援技術性能カタログ」に橋梁、トンネル、土工、舗装の点検及び道路巡視に活用可能な技術を追加したことを発表しました。

同カタログは、国が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、国の管理施設等で技術検証した結果をカタログ形式でとりまとめたものです。今回、水陸両用狭あい部点検ロボットを使用した点検支援技術や、台車型トンネル覆工画像同時撮影システムなど、新たに54技術が掲載されました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_002079.html



Analyze & Census

日本建設業連合会

研究開発に関するアンケート 2025年度調査結果を公表

4月9日、日本建設業連合会は、「建設業における研究開発に関するアンケート調査」の2025年度調査報告書を公表しました。

同調査は、建設会社の研究開発活動について興味をもっていただくことで建設業のイメージアップを図ることを目的としています。調査結果では、回答企業の76%が社内で研究開発を実施しているほか、各社が注力している研究開発の項目として「省エネルギー・CO₂削減」が最も多く挙げられています。

<https://www.nikkenren.com/publication/detail.html?ci=408>



建設業振興基金

CCUS認定アドバイザーによる相談窓口 連絡先一覧表の更新

4月15日、建設業振興基金は、CCUS認定アドバイザーによる相談窓口の連絡先一覧表を更新しました。

CCUS認定アドバイザーは、建設業振興基金よりCCUSの登録や現場運用等の専門的知識を有すると認められた方です。相談窓口は全国に設置されており、電話またはメールにより、CCUSの登録・運用に関する質問・相談をすることができます。なお、アドバイザーによる対応は、ボランティアな活動として行われていますので、相談時間等の条件をご確認ください。

https://www.ccus.jp/attachments/show/ninteiad_telephone-email-support



Management

建設技能人材機構

特定技能外国人等向け運転系特別教育の受付開始 2026年度上期は6月より開講

4月14日、特定技能人材機構は、特定技能外国人等を対象に、今年度より新たに開催する母国語による運転系特別教育(無料)の申込受付を開始しました。

この運転系特別教育は登録教習機関の協力を得て、外国語の言語別に学科教育をオンライン形式で、実技教育を全国各地の教習所にて対面形式でそれぞれ実施し、修了証も発行されます。2026年度上期はベトナム語、インドネシア語の2言語で、6月より順次開講されます。

<https://jac-skill.or.jp/news/information/small-machinery-special-training-2026.php>



Analyze & Census

建設業技術者センター

監理技術者、建設技術者の確保に関する調査 中間とりまとめを公表

4月3日、建設業技術者センターは、「地域建設業における監理技術者数の現状と将来の増減予測並びに技術者確保へ向けた受発注者の取り組み」に関する調査の中間とりまとめを公表しました。

同調査では、監理技術者資格者証保有者数の2030年予測値を都道府県別に算出するとともに、保有者数の減少率が特に高い徳島県、北海道での取材結果等を基に、監理技術者数及び建設技術者不足の解消に向けた方策を提示しています。

<https://www.cezaidan.or.jp/information/presentation/index.html>

東日本建設業保証

広報誌『EAST TIMES』2026春号を発行

弊社では、社会資本整備の必要性や建設産業に対する理解を広めることを目的に、広報誌『EAST TIMES』を季刊で発行しています。

今号では「したしむ」をキーワードに、業界内でいち早く専門部署を設け、女性活躍を推進してきた企業に、「男性を巻き込む」取組とその風土を醸成するための施策について取材しました。また、日本で唯一の大工道具の博物館や、建設業に関連したさまざまなカードを紹介しています。

<https://www.ejcs.co.jp/report/east-times/>

